

- ・ ペーパードリップ実践 ・ ホットコーヒー楽しむ

☆ 本日の珈琲

：“ブラジルNo.2 #18”

☆多 コーヒーの代名詞・バランスのとれた味わいのブラジル

ブラジルは南米大陸の大半をしめる大きな国家です。そして、世界最大のコーヒー生産国。コーヒーは、1760年、インドからブラジルリオに移植され、リオからサンパウロへと広がったコーヒーは、現在は南東部のサンパウロ、パラナ、ミナスジェライスを中心に栽培され、この地域は肥沃な土壌となっており、気候もコーヒー栽培に適しています。※雨量が多く、年間気温が22度ぐらいです。

ブラジル産のコーヒーは「ブラジル」と呼ばれていますが、その中でも、国内の多くのコーヒー豆が集まるサントス港から輸出されたものを「サントス(ブラジルサントス)」と呼びます。酸味・苦味・コクはやわらかく、バランスが良い(クセがない)のと、生産量が多く安価に手に入ることから、ブレンドによく用いられます。